

かなえ

第98号(令和2年12月)

医療法人社団鼎会 三和病院

松戸市日暮7-379 ☎047-712-0202

<http://www.sanwa-hsp.or.jp>

医療法人社団鼎会 八柱三和クリニック

松戸市日暮1-16-2 ☎047-312-8830

<http://www.y-sanwa-cl.com>



秋の新松戸周辺散策

新松戸駅前より中央大通り方面に歩く。

流山電鉄幸谷駅の踏切を渡り新坂川から馬橋方面を見てスケッチ。

10月も中旬を過ぎ秋の気配が漂うこの頃である。

公園では木々の梢が一番に色づく。

いよいよ秋本番だ。

駅前の喫茶店でコーヒーをいただく。何とケーキ付きで500円。

今日の歩行を計算して注文する。

至福の一杯を飲み中央大通りを旧ダイエー方面に歩く。

(本日の歩数は5000歩を目標)

今日もカロリー消費を気にしながらのスケッチであった。

絵、文 菅谷 功 2020年10月

長寿時代を生き抜くために ～最近の骨粗鬆症と腰痛の話～

整形外科 小酒井 治 医師

外来診療日／三和病院：月曜 午後(第2,4週)

日本女性の平均寿命が85歳を超えて、超高齢化社会となりました。それに比例して骨粗鬆症の患者さんも増加し、更に骨折をする患者さんも増えています。

骨粗鬆症とは、骨量が減少し骨がスポンジの様に脆くなり、骨折しやすくなる病気です。原因は高齢、女性では閉経、運動不足、カルシウム不足が挙げられます。

従って予防には、運動、日光浴、カルシウムやビタミンDの摂取があり、一般的に、飲酒、喫煙は避けたいほうが望ましいと言われています。また転ばぬ先の一本杖や段差の解消、手すりの設置などハード面の改善も必要です。

生じやすい骨折のタイプは大きく分けて4種類あります。前に倒れて手を突けば橈骨(トウコツ)遠位端骨折を、尻餅をつけば脊椎圧迫骨折を、横に倒れれば、大腿骨近位部骨折や上腕骨頸部骨折を起こします。

骨粗鬆症の診断法ですが、当院ではレントゲンで橈骨遠位の骨塩(密度)定量を行っています。若い時の骨塩と比べ70%未満だと骨粗鬆症、70%から79%だと骨量減少となり、治療開始の適応となります。従ってまだ腰痛などの明らかな症状が無くても、骨塩量(密度)が低い時は、治療の開始をお勧めします。

また最近骨密度はさほど下がっていないのに骨折をした人について骨質を検査したところ、ペントシジン、総ホモシステインというデータが上がっていると言われています。これは骨を鉄筋コンクリートに見立てて言うと、セメントが骨塩で中の鉄筋が骨質と考えてよく、セメントは豊富でも、鉄筋が錆びていれば脆くなるという理屈です。

治療は昔からある治療法に、最近各種の薬が加わり、百花繚乱と言ったところです。

- ①カルシウム製剤とビタミンD製剤(ワンアルファー&エディロール)：カルシウムを食事で摂取できなければ薬として取る必要があります。またなかなか日光浴が出来なければビタミンDを取らなければなりません。
- ②ビタミンK製剤(グラケー)：骨の形成を促進します。
- ③SERM製剤(エビスタ、ビビアント)：女性のみしか使えません。骨の減少を抑えます。
- ④ビスフォスフォネート製剤(ボノテオ毎日経口、ボンビバ月1回静脈注射)：破骨細胞を押さえ、骨が溶けるのを防ぎます。
- ⑤PTH(副甲状腺ホルモン)製剤(フォルテオ毎日皮下注射、テリボン週1回皮下注射)：骨を確実に増やし、骨塩、骨質共に改善します。
- ⑥デノスマブ製剤(プラリア半年1回皮下注射)

これらを適切に使って、骨折を予防し治療して、これからの長寿時代を生き抜いて行きましょう。

追伸：腰痛症について一言。

腰痛の原因として、前述の通り、骨粗鬆症による圧迫骨折があります。いわゆるいつの間にか骨折ですが、65歳を過ぎたら、一度は骨密度を測ってみましょう。また、圧迫骨折の時は、硬性コルセットを約半年間、着ける必要があります。

またそれ以外には、腰部脊柱管狭窄症、腰椎椎間板ヘルニアなどがあり、腰椎のMRI 検査で分かりますので、是非検査を受けてください。



病院内の薬局

皆さん、こんにちは。今回は「病院内の薬局」紹介です。

もしかしたら外来の受診の方は「薬は調剤薬局でもらっているし、病院の中に薬局なんてあったの?」と思われるかもしれません。そうなのです、薬局は病院スタッフ以外の方が入ることができない場所にあり普段目にはすることがありません。

スタッフは薬剤師3名、事務員1名で、『外来処方も含め病院内での薬に関する業務全て』にかかわっています。

近年の医療情勢の変化にともなって業務も多様化しているのですが、ここでは主な仕事として2つ紹介させていただきます。

【病棟業務】

入院された全ての患者さんの持参薬、副作用歴、アレルギー情報など薬に関する情報を確認し、さらに、病状・副作用などを日々観察することで効果的で安全な薬物療法がおこなわれるように支援しています。

また、薬の追加や変更時には指示内容が適正かを確認し、患者さんに服用方法や薬効などを説明して安心して正しい服薬ができるように援助しています。

その他、病棟で使用する薬品の安全性や品質の管理、医薬品の適正使用のための様々な情報提供を病院スタッフに対して行っています。

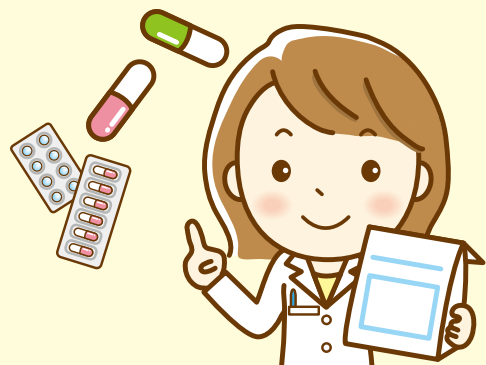
【がん化学療法業務】

すべての入院・外来患者さんに投与される化学療法レジメン(計画書)の管理、投与量、投与間隔のチェックと、注射化学療法の調整を行っています。

新しい化学療法が始まる時には、医師からの説明後に薬剤師が投与方法、効果、副作用などの説明を行います。治療開始後は副作用に注意し、必要であれば医師に副作用軽減の薬剤などの提案をしています。

化学療法調整では正確かつ無菌的に、また調整者の安全対策を十分にとって業務を行うことが求められます。当院では室外廃棄型の安全キャビネットを使用しています。

薬局は目立たない場所にありますが「薬あるところに薬剤師あり」で院内を駆け巡って業務を行っております。入院中の方はもとより、外来受診の方でも薬に関する内容で質問等ありましたら対応いたしますのでお気軽に院内スタッフにお声がけください。



正面入口での検温と問診、 マスクの着用にご協力をお願いします。



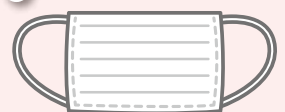
インフルエンザ流行期に入ります。

院内に入られる方は、新型コロナウイルス感染症対策と併せ

正面入り口での検温と問診、マスクの着用にご協力をお願いします。

2週間以内に、37.5度以上の発熱があったり風邪などの症状のある方につきましては、

院内に入られる前にお電話でお問い合わせをお願いします。



☎047-712-0202

鼎会からの お知らせ



休診のお知らせ

三和病院

12月18日(金) …… 乳 腺 渡辺 修 医師

12月19日(土) …… 整形外科 戸口 泰成 医師

平沢累医師 代診

1月29日(金) …… 乳 腺 渡辺 修 医師

八柱三和クリニック

12月の休診はございません。



医療法人社団鼎会への寄付金のご協力をお願いしております

医療法人社団鼎会基金へのご協力ありがとうございました

多数の方々よりご協力をいただきました基金の募集は一旦終了とさせていただきます。皆様のご協力ご支援に深く感謝申し上げ、心より御礼申し上げます。ご協力いただきました基金につきましては引き続き大切に運用させていただきます。

三和病院開設以来、皆様のご理解とご協力の下、地域に根差した医療活動を運営してまいりました。新しい医療機器の購入や室料差額無料など、より良い医療の提供や患者様の負担を軽減する運用を継続していくために一層の努力を重ねてまいります。



寄付金につきましては引き続きご協力をお願いしております。

詳細につきましては下記にお問い合わせください。

医療法人社団鼎会総務課 TEL047-712-0202

三和病院・八柱駅間

シャトルバス運行予定表



八柱駅発				三和病院発			
8時	30	50		40			
9時	10	30	50	00	20	40	
10時	30	50		20	40		
11時	10	30	50	00	20	40	
12時	30	50		20	40		
13時	10	30		00	20	50*	
昼休み				※土曜日のみ運行 土曜の最終便			
14時	20	40		10	30	50	
15時	00	20	40	10	30		
16時	20	40		10	30	50	
17時	00	20		10	30	45*	



※この便は状況に応じて増便いたします。
※交通状況等によって時間通りに運行できないことがあります。
※日曜・祝日・年末年始(12/30～1/3)は運行していません。
※定められたバス停などはございません。
※八柱駅の交番前を目安に発着しております。
※八柱駅前のロータリーの駐車状況によっては、交番前に停車できない場合がございます。その際は、ロータリー内の可能なスペースに停車致しますので、ご了承下さいませ。